



学びの直送便

今回の「学びの直送便」は伝統・文化教育、人権教育、教育相談の3講座の学びを紹介します。

京の教育 「みやび」講座

講師：落語家 桂米二氏
佛教大学 齊藤利彦 教授

「古典の日」である11月1日、京都ならではの教育について体験的に学ぶ「京の教育『みやび』講座」を実施しました。



桂米二氏

前半は落語家の桂米二氏を講師に迎えて、落語「牛ほめ」「はてなの茶碗」の実演と講義をいただきました。上方落語の正統派である桂米二氏の生き生きとした語り口に、受講者は引き込まれていました。また、講義では「話の『間』の大切さ」や「映像時代の子どもの特徴」など、実際に学校を訪問されて感じたことを中心にお話しいただきました。

後半は佛教大学の齊藤利彦教授に歌舞伎の歴史について出雲の阿国を中心に講義いただきました。「傾き者」「ややこ踊り」など、**それぞれの時代の文化が時空を超えて現代の芸能にいかにか息づいているか**を、様々な資料を基にお話しいただきました。

生の落語や歌舞伎を見たことがない、という受講者が大半を占める中、本物を見たり、知識を得ることで、より深みのある授業実践につながる講座となりました。

受講者の感想から.....
伝統・文化を子どもたちに学ばせることは大切な内容であるが、その内容を指導する側の教員がいかにか深く理解し、その豊かさ、有意義さを知っているかによって子どもへの伝え方が変わってくる。今日学んだことを校内でも伝えていきたい。

人権教育講座Ⅱ —同和問題を考える—

講師：京都教育大学 伊藤悦子 教授

講師に京都教育大学教授の伊藤悦子氏を迎え、「人権教育講座Ⅱ—同和問題を考える—」を実施しました。

講義では、**同和問題の歴史的経過**について振り返るとともに、**情報化が進むこれからの社会における課題**についても学びを深めました。また、同和教育の歩みとしての「教科書無償化」や就職にかかる「統一応募用紙」の取組の意義について考え、**同和教育の成果と手法を継承していく重要性**についても再認識しました。



続いて、府の『人権学習資料集(高等学校編Ⅱ)』の作成協力者である府立農芸高等学校の日下部富伯教諭から資料集の効果的な活用法について実践報告をしていただきました。その後の研究協議では、各校種に応じた人権学習の進め方やその工夫について受講者同士で熱心に協議する様子が見られました。



教育相談<中級>講座Ⅲ—教師・子どもからみる事例の理解 ～プロセスレコードを用いて～【領域③】

講師：京都産業大学 教授
京都教育大学大学院連合教職実践研究科 角田豊 教授

「プロセスレコード」とは...

アメリカの精神科看護の領域で考案され発展してきた省察方法。会話や出来事を振り返り考察し、記録に留めることで対象者に対する理解を深め、コミュニケーション力の向上を図ることができる。

毎日の学校教育の中で、教師と子どもの関わり合いは無数に生じており、その一つ一つの場面で教師は「感性」に従いながら子どもに関わっています。それが教師の専門性だといえます。その関わりが効果的な場合もあれば、不十分な場合もあります。

これまでよく見えていなかった教師と子どもとの関係や、そのときに感じていた教師自身の感情を**意識的・言語的に省察して「感性」を磨くための方法**として、プロセスレコードを紹介していただきました。

講座では、実際にこれまでのエピソードを思い起こしてプロセスレコードを作成し、客観的に振り返る体験を通して、省察を促進する経験ができました。自分の実践だけでなく校内で紹介し事例検討などでも活用してみたいという感想が聞かれました。



学習評価

大きく変わる学習指導要領の中でも、特に「学習評価」に着目して、3回シリーズで紹介していきます。

観点別学習状況の評価は、**4観点から3観点到!**

現行学習指導要領

知識・理解

技能

思考・判断・表現

関心・意欲・態度

各教科の資質・能力育成の3つの柱に沿って...

新学習指導要領

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

新学習指導要領では、目標及び内容が、「**知識及び技能**」「**思考力・判断力・表現力**」「**学びに向かう力、人間性等**」の3つの資質・能力に整理されました。

「**学びに向かう力、人間性等**」は、感性や思いやり等、**個人内評価**によって見取る部分もあることに留意が必要です。

学習評価の在り方について基本的な考え方

学習評価

児童生徒にとって

学習改善につながるものにする

教師にとって

指導改善につながるものにする

現行学習指導要領でも大切な視点ですね!

意義や価値を実感できる!

評価の場面や方法の工夫を!

これまでの慣行として行われてきたことでも、**必要性・妥当性**が認められないものは見直していくこと

国立教育政策研究所「**学習評価の在り方ハンドブック**」にわかりやすく整理されています。URL又はQRコードからも御覧いただけます!

QRコード



URL

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouairyuu.html>

小・中学校編

高等学校編



次号以降、学習評価の3つの観点や具体的な評価について詳しく掲載していきます!

文部科学省

「**図画工作科材料や用具**

のウェブサイト」

ができました!



小学校図画工作科の授業で使用する材料や用具について、授業前の準備や授業後の片付けの際などに役立つアイデア、授業を円滑に進めるための工夫やアドバイス等を紹介しています。日々の授業改善や指導の工夫、安全管理、準備や片付けの効率化等につながるポイントが満載です。学校や児童の状況に応じて、適宜参考にしてみてください。

1. 「材料や用具」を選ぶ。

2. 例えば「授業の前に」を選ぶと...

3. 説明画面になります。



イラスト入りでわかりやすい!

アクセス方法

- 「**図画工作科で扱う材料や用具**」で検索!
- URLからアクセス!
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zukou/index.htm
- QRコードからアクセス!



京都府総合教育センターでも実技教科の講座を開講し、先生方の支援をしています!

